

地域の課題 じっくり学習



1年生が10分野の識者から地域の課題などを聞いた

＝長井市・長井高

長井市の長井高（青柳敦子校長）の1年生171人を対象とした講座「地域の課題を知る」が6日、同校で開かれた。生徒が10分野の識者から市内の現状などを教わり、課題解決策について話し合った。

2年生で行う課題研究に向け、その土台となる見識を深めようと初めて開催した。生徒は、政策▽地域づくり▽観光▽経済▽起業▽IT情報▽工業▽環境・農業▽教育▽医療福祉一の各分野に分かれ、市職員や企業の代表者など計15人から話を聞いた。

10分野 識者に聞く

長井高生

観光分野では、今野誠市観光協会、丸山邦昭やまがたアルカディア観光局の両事務局長が講師を務め、各神社に奉納されている伝統行事「黒獅子舞」の担い手不足や、あやめ公園への若者の来園減少といった課題などを紹介した。

生徒たちは「市民以外も黒獅子舞を体験できたらいい」「インスタ映えスポットをもっと増やして若者を呼び込もう」「ミュージックビデオのロケを誘致して注目を集めよう」など、活発に意見を交わしていた。

（上妻大晃）